

日ト発第117481号

令和 6年 9月10日

会 員 各 位

一般社団法人日本トンネル技術協会

事業委員長 入 江 健 二

公印略

山岳トンネル維持管理業務講習会(実践編)開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃から本会事業活動には種々ご支援賜り誠に有り難うございます。

さて、維持管理業務講習会（基礎編）に引き続き保守管理小委員会（委員長：齊藤 誠）企画のもと第9回目となる維持管理業務講習会（実践編）を、下記のとおり実施することといたしました。基礎編では、現場での点検作業に従事さささすることが出来るレベルの技術者の育成を目的として実施いたしますが、実践編では、現場での点検作業に加えて、診断や補修・補強等の措置に関して指導できるレベルの技術者の育成を図ることを目的として実施します。構造の対象は矢板工法及び NATM で施工されたトンネルとし、調査、診断、措置を主な講習範囲とします。

つきましては、山岳トンネルの維持管理業務に携わる技術者の皆様にとりまして、施工事例をふまえた大変有意義な講習会と存じますので、受講要領をご理解いただき、多数ご参加くださいますようご案内いたします。

なお、今回は会場参加及び Zoom システムを利用したリモート参加（聴講）の併用型講習会と致します。

敬 具

記

1. 開 催 日：令和7年1月31日（金）9：30～17：00
2. 拠点会場：コンワビル13階第2・3会議室 〒104-0045中央区築地1-12-22
3. プログラム：別紙のとおり
4. 定 員：会場参加 40 名、WEB 参加 100 名
(会場参加の場合、定員になり次第、締切とさせていただきます)
5. 受 講 費：会場参加 個人会員 12,000 円、団体会員 14,000 円、一般 18,000 円
WEB 個人会員 10,000 円、団体会員 12,000 円、一般 15,000 円
(テキスト代込み、消費税込み)
6. 受講申込と支払方法

①受講申込方法：事前参加申込みを原則とします。

別記申込フォームにアクセスし、令和7年1月10日（金）頃までに参加者氏名、年齢、会社名、所属役職、TEL、メールアドレス、資料送付先、会員の種別（個人、団体、一般）そして参加形式（会場かWEB）を記入のうえお申し込み下さい。本会で申込確認後、受付番号をご連絡いたしますので、受講費のお支払いお願いいたします。なお、電話での申し込みは受けませんので、ご了承ください。

②受講費のお支払方法

受講費は、受付番号の受領後、郵便振替にて令和6年1月17日（金）頃までに下記の口座へお振込みください（通信欄に行事名、受講者氏名、受付番号をご記入ください）。現金書

留でも結構です。なお、受講費の払戻しはいたしかねますが、団体会員の場合、代理参加は差し支えありません。また、領収書をご希望の方はお申し出ください。別途、郵送させていただきます。

郵便振替口座 00160-7-196331 一般社団法人日本トンネル技術協会

③受講要領等

入金確認後、当日の資料、事前質問提出要領等について、郵送(一部ホームページにも掲載)致します。

また、リモートでの受講要領については、後日ホームページに掲載いたしますので、必ずご確認願います。

7. その他：

①当日の講義資料に対する質問を事前に提出頂き、各講義等の中で可能な限り質問に答えていきたいと考えています。参加要領に示すとともに、受講者に対しては改めてご案内いたします。

②本発表会は(公社)土木学会のCPDプログラムとして申請中です。認定後は、ホームページに掲載いたします。

③お問い合わせ 講習会に関する質問は下記にお願いいたします。

(一社)日本トンネル技術協会 維持管理講習会基礎編係

TEL:03-3524-1755 e-mail : event@japan-tunnel.org

拠点会場案内図

下記サイトよりアクセスご確認お間違いの無いようにお願いいたします。

コンワ会館 13 階会議室 〒104-0045 中央区築地 1 丁目 12-22 コンワビル

<https://www.konwa.com/pages/4/>

第9回 山岳トンネル維持管理業務講習会（実践編）プログラム

開催日：令和7年1月31日（金）、9：30～17：00

コンワビル13階第2・3会議室

〒104-0045 東京都中央区築地1-12-22

基本プログラムを以下に示しますが、質問への対応で変更(延長)の可能性がございます。

- 09:30～09:40 (10) 講習会の取組み 鈴木 和也
東日本旅客鉄道(株) 構造技術センター地下・トンネル構造ユニット副長
(内容：講習会の目的と概要、保守管理の現状)
- 09:40～11:00 (80) トンネル変状に対する調査と診断…………… 太田 裕之
応用地質(株) 技術本部 技師長
(調査時の注意点、調査結果を踏まえた健全性判定ならびに調査方針の考え方)
- 11:00～11:10 (10) 休憩
- 11:10～12:10 (60) 診断に基づいた措置…………… 野城 一栄
(公財) 鉄道総合技術研究所 構造物技術研究部 トンネル研究室長
(診断に基づいた措置(剥落防止・外力・漏水対策)の体系的な考え方)
- 12:10～13:10 (60) 昼食
- 13:10～14:10 (60) 道路トンネルの補修補強…………… 小林 康範
(株) 高速道路総合技術研究所 道路研究部 トンネル研究担当部長
(変状の概要、特定更新の計画およびインバート対策工事の実施状況)
- 14:10～14:20 (10) 休憩
- 14:20～15:20 (60) 鉄道トンネルの補修補強…………… 小泉 秀之
東日本旅客鉄道(株) 構造技術センター地下・トンネル構造ユニット マネージャー
(変状の概要と路盤隆起や剥落対策など補修・補強の事例について)
- 15:20～15:30 (10) 休憩
- 15:30～16:20 (50) トンネル構造物の管理者のあり方…………… 木村 定雄
金沢工業大学 工学部 環境土木工学科 教授
- 16:20～17:00 (30) まとめ (前掲) 鈴木 和也
(内容：確認試験、アンケート実施)